

はらむら



# 議会だより

第117号

平成26年5月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



ピカピカの1年生

■平成26年■

3月  
定例会

- 3月定例会 ..... 2
- 委員会報告 ..... 4
- 組合議会等報告 ..... 6
- 視察報告 ..... 7
- 一般質問 ..... 8
- 議会日誌 ..... 12

# 3月定例会

平成26年第1回定例会は3月3日から14日まで、会期12日間で開催された。

平成26年度一般会計予算案など村長提出議案21件、請願1件と議員提出議案1件を審議した。

委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎原村固定資産評価審査委員会委員の選任同意

をすべき。

◎諏訪広域連合規約の変更

(内容) 特別養護老人ホーム恋月荘の運営を民間に委ねるもの

☆賛成討論

・利用料金の体系がわかりやすいものになった。類似施設の料金と比較して適正である。

◎平成25年度一般会計補正予算(第6号)

(内容) 中学校大規模改修等の繰越明許など。

◎平成26年度一般会計予算

(内容) 歳入歳出予算の総額を38億8千800万円とするもの。前年度比1億5千300万円(41%)の増。保育所給食棟建設、臨時福祉給付金・子育て世帯給付金、保健センター建設設計、社会体育館付帯設備耐震化改修工事設計など新規事業の増が主なもの。

☆反対討論

・利用料金の値上げではなく、利用者を増やす努力

歳出総額の3分の1に近づき、以下、総務費、土木費、教育費、衛生費と、例年のように続いている。主な新規事業としては、村勢要覧作成、第5次総合計画策定、臨時福祉給付金、老人福祉計画策定、保育所給食棟建設工事1億2千220万円、保健センター建設実施設計委託850万円などである。

☆反対討論

・大型予算の中で、人件費が減っている。  
・村民負担の増える値上げがある一方、敬老年金など祝金にして減額している。

☆賛成討論

・福祉の向上に取り組んでいる。  
・重要な事業の予算が盛り込まれている。村単独の福祉予算は増加しているが、制度を維持している。

◎平成25年度一般会計補正予算(第7号)

(内容) 2月豪雪に対する

道路除雪費など。

## 請願の審議

請願の審議は次のとおりです。

◎「特定秘密保護法」の廃止を求める請願者

憲法九条を守る原村民の会 事務局長

黒田 晃生  
紹介議員 鮫島 和美  
「賛成少数で不採択」

☆反対討論

・国民の安全を守る法律と考える。慎重な運用を求めるが廃止ではない。

☆賛成討論

・国民の知る権利が阻害され、情報が恣意的に操作される危険がある。廃止すべきである。



雪捨て場になった校庭

## (3) 第117号 はらむら議会だより

## 平成26年第1回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議 案 名 等	議 員 名										審 議 結 果
		小 林 庄 三 郎	小 池 利 治	木 下 貞 彦	五 味 武 雄	鮫 島 和 美	矢 島 昌 彦	小 池 和 男	日 達 徳 吉	宮 坂 早 苗	長 谷 川 寛	
《村長提出》												
同意第1号	原村固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第1号	諏訪広域連合規約の変更	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	諏訪広域連合特別養護老人ホーム恋月荘の廃止に伴う財産処分	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	諏訪南行政事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	原村税条例の一部改正	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第5号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第6号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第7号	八ヶ岳自然文化園条例の一部改正	○	×	○	○	×	－	○	○	○	○	可決
議案第8号	平成25年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第9号	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第10号	水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第11号	原村道路線の廃止及び認定	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第12号	平成26年度原村一般会計予算	○	×	○	○	×	－	○	○	○	○	可決
議案第13号	国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第14号	国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第15号	有線放送事業特別会計予算	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第16号	農業者労働災害共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
議案第17号	後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	×	－	○	○	○	○	可決
議案第18号	水道事業会計予算	○	×	○	○	▽	－	○	○	○	○	可決
議案第19号	下水道事業会計予算	○	×	○	○	▽	－	○	○	○	○	可決
議案第20号	平成25年度原村一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
《議員提出》												
発議第1号	特定秘密保護法の慎重・適正な運用を求める意見書提出について	○	×	○	○	×	－	○	○	○	○	可決



# 委員会報告

## 総務産業常任委員会

委員長 矢島昌彦

26年度一般会計予算、条例改正、25年度補正予算等8議案を審査した。

### ◎26年度一般会計予算

- ・歳入歳出予算は38億8千800万円、前年度に比べ1億5千300万円の増額。保育所給食棟建設1億2千220万円。臨時福祉給付金他で4千150万円。保健センター設計850万円。第5次総合計画策定業務650万円。社会体育館耐震化等の設計500万円などの新規事業が盛られた。

### 反対討論

- ・38億円を超える大型予算なのに、人件費が400万円減っている。職員給料は上げるべき。

### 賛成討論

- ・農業基盤整備、保育所給食棟建設、第5次総合計画策定など26年度に実施すべき大切な事業。

### ◎村税条例の一部改正

- ・滞納整理は資産、預貯金の調査を確かにし、執行。「日本で最も美しい村連合」加盟に向け、庁内と村民の2組織を立ち上げ検討していく。

### ◎消防団員等公務災害補償条例の一部改正

- ・補償内容は変わらない。

### ◎自然文化園条例の一部改正

正

(賛成3…反対1)

- ・文化園施設の利用料金、入場料等の見直し。

### 反対討論

- ・値下げして利用者数を増やすべき。

### 賛成討論

- ・利用する人に分かりやすく適正料金になった。

### ◎25年度一般会計補正予算

- ・各区に除雪対策費、390万6千円を交付

### ◎26年度有線放送会計予算

- ・26年度でセンター設備スピーカーなど機種を決め、27年度初めに発注する予定。

### ◎26年度農労災共済予算

- ・農労災基金は約1千616万円。

## 請願の審査

### ◎「特定秘密保護法」の廃止を求める請願

- 不採択とすべきものと決定する。

(賛成1…反対3)

### 反対討論

- ・国際情勢は大変厳しい。国民の安全確保のための情報収集は必要。知る権利は大切。問題点を改め、慎重な運用を求む。

### 賛成討論

- ・マスクミの取材や国民の知る権利が侵害される。

## 事務調査

- ・豪雪による被害農家調査。村は緊急支援対策を手厚く事業化した。
- ・被災者は「倒壊・半壊」の判断基準や補助内容の基準が得られず。撤去作業ができないでいる。
- ・相談窓口は早急に県と基準内容を確認し、被災者に補助内容を適切に説明助言をすること。



被害農家調査

# 社会文教常任委員会

委員長 宮坂早苗

25年度一般会計補正予算、26年度一般会計予算など、議案8件を審査した。

## ◎25年度一般会計補正予算 (第6号)

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・大雪による道路除雪委託料3千万円、老人医療費特別給付金600万円の追加補正。パソコンOSを、XPからウィンドウズ7へ変更等。

合負担金増。木材粉碎機運転委託料等。

- ・土木費は、道路除雪費、道路改良工事費の増額、交通安全協会補助金等。
- ・教育費は、歴史民俗資料館非常警報装置等設置工事、社会体育館耐震化等改修工事設計委託料、社会体育施設の維持補修工事費等。

## ◎26年度一般会計予算

- 賛成多数で原案を可決すべきものと決定する。

(賛成3、反対1)

- ・民生費は、消費税増税による低所得者対策、保育所給食棟建設工事費、障害者福祉計画策定業務、子ども子育て支援事業計画作成費等。
- ・衛生費は、保健センター実施設計、諏訪南行政事務組合・南諏衛生施設組

### 反対討論

- ・後期高齢者医療費特別会計への繰出金を認めない。敬老祝金を前の内容に戻すべきであるので反対。

### 賛成討論

- ・福祉の向上に取り組んでいることに賛成。
- ・村単独の福祉予算は増加している。後期高齢者医療特別会計は一般会計から繰出さないと成り立た

ないので賛成。

## ◎26年度国民健康保険事業勘定特別会計予算

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・給付費については、給付実績等により見込んだ額。

## ◎26年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・基金に1千万円の積み立て、臨時医師への対応等。

## ◎26年度後期高齢者医療特別会計予算

- 賛成多数で原案を可決すべきものと決定する。

(賛成3、反対1)

- ・広域連合から示された予算。

### 反対討論

- ・75歳以上の高齢者が別枠で負担が大きい。制度そのものに反対。

### 賛成討論

- ・高齢者の増加で保険料の

値上げはやむを得ないので賛成。

## ◎26年度水道事業会計予算

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・第5水源本体工事着工。
- ・地方公営企業会計制度見直しにより、税理士に会計経理指導をうける。

◎26年度下水道事業会計予算

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・下水道台帳データ化は、道路台帳に下水道のデータをいれるもの。
- ・広報はら2月号の「下水道料金の改定について」のお知らせは、わかりにくい。再度わかりやすい方法で案内をだす。との説明があった。



ホームステイ壮行会

# 組合議会等報告

## 諏訪広域連合

3月25日、26日定例会

が開催された。条例の改正、一般会計予算、特別会計予算など20議案が審議され全議案とも承認、または可決され、介護保険見直しに対する陳情は不採択となった。

主要議案は、特別養護老人ホーム恋月荘の移管にともなう条例廃止、財産処分、職員の派遣など。介護保険特別会計など25年度会計補正予算、26年度会計予算7議案。

### ◎恋月荘の移管

26年4月長野県厚生連に移管。財産土地約7千㎡は5千10万円で、建物工作物などは無償で譲渡。今後は、平成28年度までに施設を近隣地に改築する。改築に当たっては詳細を事前に協議する。恋月荘基金などは八ヶ岳寮福祉基金とし

て運用する。

### ◎諏訪広域消防一元化

27年4月一元化に向けて準備を進める。広域化により、情報の共有、人員機材の効率化、大規模災害への対応の迅速化が図られる。消防団との連携は従来どおり連携して対応する。

### ◎介護保険事業

第6次介護介護保険計画策定が始まる。

## 諏訪南行政事務組合

平成26年度諏訪南行政事務組合議会3月定例会が、3月26日開催された。

平成26年度予算2件が提案され、全会一致で可決された。

### ◎26年度一般会計予算(諏訪市・茅野市・富士見町・原村の4市町村が運営する静香苑の予算)

・歳入歳出の総額は、7千189万9千円(原村分担金572万1千円)。  
・歳出は、火葬炉レンガ全面積替工事最終年度、6月、7月に工事予定。

### ◎ごみ処理事業特別会計予算(茅野市・富士見町・原村の3市町村のごみ処理の予算)

・歳入歳出の総額は、5億2千66万9千円(原村分担金5千617万1千円)。  
・歳出は、光熱水費の電気料金、県外への埋立物運搬処理委託料の増額。

・埋立物運搬処理委託は、草津ウエブウエスト1千トン、伊賀ヤマゼン1千トン、骨材系企業500トン、セメント系企業500トンを予定。  
合計3千トン、4社にリスク分散する。

## 南諏衛生施設組合

3月27日に、26年度予算議会が開催された。

4議案が審議されいずれも全会一致で承認された。

### ◎南諏衛生センター条例の一部改正

### ◎25年度会計補正予算

歳入歳出2億2千604万4千円とするもの。

### ◎26年度会計予算

原村負担分6千398万7千円。

### ◎南諏衛生施設組合監査委員の選任について

原村の荒木桂男氏が選任された。

## 諏訪中央病院組合

3月定例会が3月27日に病院で開催された。

平成26年度病院事業会計予算案など組合長より7議案の提出があり、全議案を全会一致で可決した。

病院事業会計予算は前年比73%増の85億4千542万円、1日の平均患者数は入院・入所318人、外来は透析クリニックを含め782人。

閉会後の全員協議会で看護師国家試験について、卒業生35人全員が合格し諏訪中央病院に21人が就職したと報告があった。

平成26年度諏訪広域連合予算 (単位：千円)

会計別	予算額	原村負担分	
一般会計	495,100	11,059	
特別会計	救護施設 八ヶ岳寮	409,370	3,680
	介護保険	17,569,159	97,787
	諏訪広域消防	2,652,163	108,746
	諏訪地域ふるさと振興基金	49,075	-

- 負担金なし

諏訪中央病院組合 平成26年度予算 (単位：千円)

会計別	予算額(収入)	原村負担分
病院事業	8,545,420	42,137
老人保健施設	418,427	2,750
看護専門学校	132,068	8,423
老人福祉施設	433,061	-



# 視察報告

## 社会文教常任委員会

2月4日から6日にかけて、神奈川県、静岡県を視察した。

葉山町「ゼロウェイスト」にむけた取り組み

収集ごみの分析を行ない、可燃ごみ7〜8割、埋立てごみ5割が資源化可能である現状が判明。ごみ半減に向けた施策として、住民のライフスタイルに合わせた「生ごみ処理機」の推奨、町が材料費負担する「資源小屋」の建設など、多様な収集方法の提案により、ごみ半減を達成。また、努力が報われる仕組みとして、資源物収集量に応じた奨励金を地元へ還元。

公共施設の生ごみも、敷地内で処理。

三島市「スマートウエルネスみしま」の取り組み  
健やかで幸せに暮らせる町を目指す「スマートウエルネスみしま」を基本的な

考えとして、多様な分野に「健幸」という視点を取り入れている。

市民が健康に生活できること、歩いて暮らせる町づくり、活動に参加して「健康マイレージ」のポイントを得る、景品の進呈など。

「超高齢化社会」をどう支えるか若い職員のチームが積極的に市民総参加の町づくりに取り組んでいる。

11月21、22日の両日、長野県「飯田市環境センター」、岐阜県可児市の「ささゆりクリーンパーク」、岐阜県大垣市の「丸硝株式会社」「日本耐酸塩工業株式会社」を視察した。

## 南諏衛生施設組合

(宮坂 早苗 記)

長泉町「地域・行政が一体となった子育て支援」

住民目線で行政を行なうということから、学校教育課と福祉課の一部を統合し、「出生から中学校卒業までの行政窓口一本化」、こども育成課ができた。

公設公営の「放課後児童会」の運営。保育園併設の子育て支援センター。公立・私立保育園の第3子以降の保育料無料化など、次世代の育成に取り組んでいた。

止処理と徹底したゴミの分別、資源化処理により廃棄物の循環型処理を目ざしている。

丸硝株式会社

使用済みのガラスびんを回収して異物を取り除き、細かく砕き、カレット（ビンの原料）を作る。

日本耐酸塩工業株式会社

搬入されたカレットと他の原料（けい砂、ソーダ灰等）を溶解し、各種のびんを製造。

どの施設も、周辺地域の環境保持について細心の注意をはらっていた。そして、廃棄物の最終処分量をゼロに近づけ、極力、再資源化を図っていることに感心した。自治体も、時代の変化に即応した施策を検討すべきであり、住民にとっては「徹底したゴミの分別」が重要な責務であることを再認識した。

(鮫島 和美 記)

## 諏訪中央病院組合議会

10月28・29日三豊総合病院（香川県観音寺市）の病院増改築事業と地域包括システムの实情について研修視察した。

昭和26年に周辺7ヶ町村の組合立病院として開設。平成21年より整備事業を進め昨年7月に完成した病床数482床、診療科目27科、医師94人を含む職員数862人の福祉施設を併設した、地域急性期医療を担う病院。

免震構造の建物で備蓄倉庫や災害用車輛も整備されている。

災害時に備えた「病院通り」という本館1階廊下の広さ（約6m×100m）に驚き、通りに面してコンビニ、レストラン、カフェ、ウツドデッキテラスなど、患者へのアメニティ施設が整っていた。

(小林 庄三郎 記)

飯田市環境センター  
(飯田竜水園)  
し尿、浄化槽汚泥処理施設

ささゆりクリーンパーク  
排ガス処理、焼却灰の溶融処理など、万全の公害防

10月28・29日三豊総合病院（香川県観音寺市）の病院増改築事業と地域包括システムの实情について研修視察した。

免震構造の建物で備蓄倉庫や災害用車輛も整備されている。

第117号 はらむら議会議だより

11月21、22日の両日、長野県「飯田市環境センター」、岐阜県可児市の「ささゆりクリーンパーク」、岐阜県大垣市の「丸硝株式会社」「日本耐酸塩工業株式会社」を視察した。

飯田市環境センター  
(飯田竜水園)  
し尿、浄化槽汚泥処理施設

10月28・29日三豊総合病院（香川県観音寺市）の病院増改築事業と地域包括システムの实情について研修視察した。

免震構造の建物で備蓄倉庫や災害用車輛も整備されている。

第117号 はらむら議会議だより

# 一般質問 村政を問う

## 「医療費特別給付金事業」 制度の見直しは

小林 庄三郎

検討を始めたい



上げもあり、医療費無料化は給付金額が右肩上りに増加している。

将来を見据えて制度の検討を始めても良いと考えるが如何か。

「村長」給付事業は福祉を重視する村の最重要事業として位置づけている、他市町村に誇れる事業であり慎重に行われなければならない。村の財政負担は増えつづけ、老人の医療費特別給付金はほぼ1億円と伸びており、一般会計に占める割合も年々高まっている。70歳から74歳の医療費の本人負担が4月より1割から2割に引き上げられた。

(質問) 制度は75歳以上を対象に昭和46年に始まり10年後には65歳以上に拡大し「福祉の原村」の代名詞となってきた施策だが、高齢化とともに窓口負担の引き

上げもあり、医療費無料化は給付金額が右肩上りに増加している。将来を見据えて制度の検討を始めても良いと考えるが如何か。「村長」給付事業は福祉を重視する村の最重要事業として位置づけている、他市町村に誇れる事業であり慎重に行われなければならない。村の財政負担は増えつづけ、老人の医療費特別給付金はほぼ1億円と伸びており、一般会計に占める割合も年々高まっている。70歳から74歳の医療費の本人負担が4月より1割から2割に引き上げられた。福祉は原村の魅力であるが、平均寿命の伸びなどにより大変な額になっている。いま見直しを検討しなければ無責任。まず庁内で検討した上で委員会に移して検

## 「美しい村」連合加盟検討について

五味 武雄



ぜひとも加盟したい

討を始めたいと思っている。

(質問) 住民への情報発信の現状は。音声告知放送は重要な情報源である。導入後12年が経過するセンター装置の更新の考えは。

「村長」広報「はら」の配布数は2千437部で区などへの未加入世帯などのためコンビニなどにも置いていない状況もあり、情報伝達上の課題。センター装置、各戸のスピーカーが更新時期を迎えている。

平成26年度に有線放送審議会に諮り、費用面も含め検討していただく予定。

(質問) 最も美しい村運動は、行き詰まりを見せた先進国の都市モデルの成長信仰から脱却した新しい社会運動として、フランスで1982年に起こった。その後、ベルギー、カナダ、イタリアに拡がり、2012年には、日本を加えた5ヶ国の総会で、「世界で最も美しい村連合会」が設立された。

「日本で最も美しい村」連合は、2005年10月に7つの自治体が集まり発足した。当時は、いわゆる平成の大合併として市町村合併が促進され、小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村の存続が難しくなってきた時期にあった。

連合への加入条件は、人口が1万人以下。地域資源(伝統的町並みや里山、昔ながらの祭りや伝統芸能、

郷土文化)が2つ以上あること。更に、この資源を活用する活動があるかなど。

今回加入を検討する事は、原村の今まで数百年培ってきたものの全てを棚卸する千歳一遇のチャンスと考える。そして、この地域資源を活用する活動を選定していく作業は、大変な労力を要するものと考ええる。

計画を策定する検討委員会は、庁内の英知を結集し、現場に精通した人材を組織横断的に登用することが肝要と考えるが。

「村長」最も美しい村連合にぜひとも加盟したいと思っている。原村が、この運動に同調して村づくりを進めていくことは、村の活性化のため、そして永続する村をつくっていく上で絶対必要な事と思う。庁内の検討組織としては、関係各課を横断的に構成する組織とする。

(その他の質問事項) ○「地域おこし協力隊」の活用について



# 農業施設などの再建支援を

宮坂 早苗

宮坂 早苗



## 検討していく

(質問) 大雪災害による農業施設の再建築費、修繕費、撤去費について、村が示す資材費ではなく、国と同じ内容で2分の1の補助を検討すべきでは。

国は、「産業の維持がで

きなくなる恐れがある」ということで今回の支援を決めた。農業者が意欲を失わないよう、高齢者が元気に働くことができるよう、八ヶ岳山麓で生産が行なわれることで美しい景観が維持できるよう、早急な支援を考えるべきである。

(9) 第117号 はらむら議会だより  
「村長」国は、農業用ハウスの再建・修繕に係る補助率を10分の5に引き上げた。

撤去費については、再建を前提とする撤去費について、国が2分の1を補助し、地方公共団体が2分の1を負担する場合は、その8割を特別交付税で措置すると言っている。県の補助については、情報がない。

国や県の補助制度については、不明確な部分が多くある。情報収集に努め、再建意欲を高めていだけけるよう事業を進めていきたい。

(質問) 災害に係る個人負担分について、今年度の収入が見込めなくなる農家、子育て中の若い農家が多くいる。

緊急支援として、融資に対する最大限の利子補給期間を設定すべきでは。

## 協働の村づくりは

木下 貞彦

住民と行政は対等な  
パートナーだ



「村長」国は、政府系金融機関において無利子融資、農協でも500万円を限度に無利子融資とっている。少し状況を見守りたい。

(その他の質問事項)

○インターンシップの受け

入れについて

○空き家の現状把握、管理について

(質問) 記録的な大雪の支援策と防災危機管理について

「村長」県への要請は、地方事務所の農政課を通してした。支援策は国が決まらないと県も動けない、最大限やる。今後の除雪対策として、除雪業者が共同企業体となり、村内交通を確保するために、県道も含めてマニュアル化して村が指揮を執ることが必要。原村地域防災計画は、平成14年にできた後、東日本大震災をはじめとした大規模災害等が発生したことや国の防災基本計画及び長野県地域防災計画の修正が行われたことにより、修正案に対し意見募集、県との事前協議、防災会議での審議をへて、この6月に修正内容の公表予定。

(質問) 行政改革と補助金について。村民との協働を今後どう進めるか。

「村長」会費の支払いをめぐって住民が平和でなくなっている状態が生じているため、交通安全協会の会費

は村の補助金として復活し、衛生自治会費は各区への交付金として新たに、予算化した。会費を免除することで弱まる絆と逆に強まる絆がある。

星まつりについては、本来村の行事であり、振興公社の会計が大変なので復活した。

住民と行政による協働の村づくりは理想であり目標。おらほうのむらづくり事業、建設資材支給事業などもそこを目指して行っている。

自助、共助、公助、こういうものが混然一体となった、そういう村になっっていくのが理想だ。



## 縦の木荘の今後について

鮫島和美

### 村民の意向で



〔質問〕 小学校校庭が雪捨て場となり、今も雪が積みあがっている。今後のことも考え、村の公有地を雪捨て場として確保できないか。

〔村長〕 村の中心部に空き地がない。今後も小学校の校庭が使われると思う。

〔質問〕 今回の豪雪の中で、住民から非常な危機感と孤立感を訴えられた。村の統率による除雪作業が行われたか。除雪の状況等について住民への情報が行き渡っていたか。

〔村長〕 除雪は6業者に委託し、各業者の裁量に任せ、作業への妨げを心配し、村として指示を出したり、進行状況等の報告も求めなかった。

〔質問〕 縦の木荘の今後についての方向を定めるにあたって、村長は「村民の意思によって定める。村としての予見は持たない」と表明しながら、検討委員会等で「改築して存続するならば10億円はかけなければいけない」と発言している。この発言は村民の誤解と混乱を招いている。「村民の意向に沿う」と表明したのだからその原則は守るべきだと思う。「発言」は撤回すべきではないか。

〔村長〕 村民の意思に沿って方向性を定めるといって姿勢は守っているつもりだ。存続する以上は現代のニーズにあった施設が必要だし、そのためには10億円の村費がかかるという覚悟が必要だという意味で「10億円」



〔質問〕 今回の大雪で農業にかかわる被害は甚大なものである。被害状況は。

〔村長〕 3月1日現在で、パイプハウス被害農家は191戸、被害棟数は340、ガラスハウス被害農家数9戸、被害棟数10、軽量鉄骨ハウス被害農家10戸、被害棟数17、倉庫被害農家31戸、被害棟数35、合計で被害農家数241戸、被害棟数は402、被害額は1億9

億9千927万円あまり、まだ報告していない農家は確認できなかった時点で報告してほしい。

〔質問〕 ハウスの解体撤去に人的支援。育苗中の苗の確保等の援助は。

〔村長〕 村では苗とか農産物に自分の額の助成をしたいと考えている。これは原村独自のものである。人的支援は農協と相談しながらやってもらいたい。

〔質問〕 非課税生活世帯に対する生活支援を。国は財政が大変といながら大企業には6兆円もの優遇税制をしている。税金は負担能力に応じた応能負担の原則に立ち、富裕層と大企業に自分の負担を求め改革を提案する。年金支給額も昨年の12月から来年

〔質問〕 昨年、「次年度の予算で検討する」と回答された非課税世帯に対するLED化補助はどうなったか。

〔村長〕 検討はしたが、まず、防犯灯のLED化を優先することになった。

## 大雪による倒壊ハウス内の苗、農産物の補償は

小池利治

### 応分の額を助成したい

千927万円あまり、まだ報告していない農家は確認できなかった時点で報告してほしい。

〔質問〕 ハウスの解体撤去に人的支援。育苗中の苗の確保等の援助は。

〔村長〕 村では苗とか農産物に自分の額の助成をしたいと考えている。これは原村独自のものである。人的支援は農協と相談しながらやってもらいたい。

の6月までに25%引き下げられる。今年の冬は福祉灯油券も見送られた。せめて非課税世帯に対して生活応援商品券等の生活支援を講じる考えは。

〔村長〕 国において臨時福祉給付金を考えている。





（質問） まずは、倒壊したパイプハウスの撤去。スムーズに進める人材の確保をどうするか。

「**村長**」 雪がとけると、撤去そして再建となる。ご近所とか生産部会の組織や結核の精神で互いに助け合っ取り組んでほしい。雪害対策の相談窓口をいち早く設けた。頼るところが無ければ、相談してほしい。



## 倒壊したパイプ撤去のマンパワーの確保を

矢島昌彦



助けあって欲しい

（質問） 原村観光連盟の総会の日程、役員構成はいつ決まるか。

「**課長**」 3月中旬に単団体代表が集まってもらい副会長を選出したい。

理事についても協議する。総会は4月中に行いたい。

（質問） 八ヶ岳グリーンフィールド・フェスティバルが26年開始となるが、どのように展開していくのか。

「**課長**」 本事業は産学官民が連携して実施する。観光連盟の他に原村商工会、諏訪東京理科大学、信州諏訪農協、村内の農業者団体の連携をとり相乗効果を持たせ、より一層の効果を上げたいと考えている。

今後、実行委員会組織をつくり、事業の内容を検討していきたい。



戸田小との交流会



# 議会日誌

1月	3日	原村成人式	7日	諏訪地方議会正副議長懇談会	24日	原村商工業振興審議会	
9日	9日	新年賀詞交歓会	10日	原村図書館協議会	25日	中学校ブロンズ像除幕式	
11日	11日	諏訪圏青年会議所新年会	13日	歴代正副議長会	25日	議会広報編集委員会	
12日	12日	原村消防出初式	17日	諏訪地域広域行政研修会	25日	原村鳥獣被害対策協議会	
16日	16日	議会広報編集委員会	17日	全員協議会	25日	25日	諏訪広域連合議会
17日	17日	諏訪消防協会新年会	20日	諏訪広域連合議会運営委員会	26日	26日	諏訪南行政事務組合議会
20日	20日	原村国民健康保険運営協議会	21日	全員協議会	27日	27日	南諏訪衛生施設組合議会
21日	21日	社会文教委員会と教育委員会との懇談会	25日	長野県町村議会議長会定期総会	27日	27日	諏訪中央病院組合議会
23日	23日	議会広報編集委員会	26日	議会運営委員会	29日	29日	ケアハウスひなた
25日	25日	原村村民冬季スポーツ祭	27日	原村環境保全審議会			ぼっこ竣工祝賀会
28日	28日	原村地域包括医療推進協議会	3月	原村農業振興地域整備開発協議会			
30日	30日	原村老人クラブ連合会定期大会	3月	原村農業再生協議会			
31日	31日	諏訪湖浄化講演会	3月	原村スポーツ推進審議会			
		長野県町村議会議長会正副議長・正副常任委員長研修会	17日	ニユージラントホームステイ壮行会			
2月	2月	原村商工業振興審議会	18日	八ヶ岳中央農業実践			
3日	3日	4〜6日	20日	21日			
		社会文教常任委員会視察研修	保育所卒業式	こひつじ幼稚園卒業式			

原村固定資産評価審査委員会委員になられました

**小林 正二さん** (菖蒲沢)

任期 平成26年4月1日から  
平成29年3月31日まで

議会の傍聴にお出かけください

次回(平成26年6月)の定例会は  
6月3日(火)開会の予定です。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

## 編集後記

2月14日、15日にかけての大雪は原村でも1mを超え、大きな被害が出ました。そして1名の方が亡くなられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

被害農家の費用軽減と営農意欲を維持するための国、県、村の対策をはっきりわかりやすくすることが必要です。またこうした大雪に対する除雪、農業対策、そして村民の生活に必要な情報を速やかに連絡するなど、この災害を教訓にして生かしていくことがとめられます。

4月1日から消費税が8%に上がり、これからの生活にどのような影響が出てくるか心配です。

- (小池 利治 記)
- 編集委員会
- 委員長 長谷川 寛
  - 副委員長 矢島 昌彦
  - 委員 小林庄三郎
  - 同 小池 利治
  - 同 木下 貞彦
  - 同 五味 武雄